

クラブの対外奉仕活動

地域社会のために

ロータリークラブでは、クラブ会員の専門分野を生かし、それぞれの地域の特色やニーズに合わせた、多岐にわたる独自の活動を展開しています。

主な活動として、環境保全に配慮して山や公園に植樹をしたり、環境保全に対する講演会などを通じて地域社会に啓蒙運動を行ったり、人道的な奉仕活動として、チャリティーコンサートや養護施設、老人施設への訪問支援を行っているクラブもあります。さらに、会員の専門職業による「無料相談」などさまざまな企画や中学生や高校生に対する職業指導や出前講座、インターンシップなどの活動を行っているクラブもあります。

福島クラブでは、阿武隈川の清流を取り戻す活動、猪苗代湖の水質改善活動、更にはロータリー100周年を記念しての茂庭桜100本の植樹、クラブ創立60周年を記念しての、福島市の梨の原木保存のための顕彰碑建立と、福島市内小学校が参加したロータリー環境賞事業など、地域社会のためにさまざまな活動を展開しております。

世界のために

日本では、海外の人たちへの支援としては、タイ、フィリピン、ネパールなどアジアの人たちへの活動が中心ですが、もちろん、世界各地の人々へも手を差し伸べています。安全な飲み水を確保できない人たちのために井戸を掘ったり、浄水施設を設置したり、識字率向上のために学校を建設したり、教科書、文房具、机、椅子などを送っているクラブもあります。さらに、ポリオワクチンの接種活動や歯科検診、白内障の治療活動を行っている地区やクラブもあります。福島クラブでは、フィリピンのマリキナロータリークラブと双子クラブの協定を締結し、相互訪問とともに、地域の水道整備への支援、小学校への教材提供支援などの活動を行っております。

青少年のために

日本国内のクラブや地区では、地域の若い人々を育てたり支援したりする活動も積極的に行っています。

★インターアクトクラブ

12歳から18歳の学生を対象に、奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相共に活動する機会を青少年に与えるために作られています。福島クラブでは、市内の東稜高等学校のインターアクトクラブを提唱しています。

★ローターアクトクラブ

18歳から30歳までを対象に、奉仕を志向する市民と指導者を育成するために設立されたロータリークラブが提唱する世界的な団体です。福島クラブでは、市内の福島学院大学ローターアクトクラブを提唱しています。

★青少年交換

国際理解と親善を促進することを目的として、15歳から19歳までの高校生を対象に、1学年度間、または休暇期間中に海外と交換交流する制度です。

★RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）

若者の指導者育成および善良な市民としての資質を伸ばすことを目的としたプログラムです。年齢14歳から30歳までの青少年を対象としています。

（文責 丹治正博）